

KANAZAWA UNIVERSITY

DATA'17

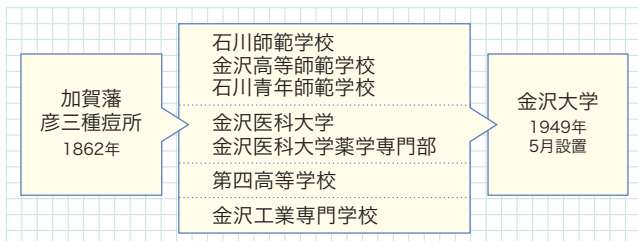
データで見る金沢大学 2017

- 1 組織・沿革
- 2 入学状況
- 3 学生数および附属学校園幼児・児童・生徒数
- 4 卒業後の進路
- 5 教育
- 6 研究
- 7 科研費
- 8 産学官連携
- 9 社会貢献
- 10 生涯学習
- 11 国際交流・外国人留学生
- 12 附属図書館・資料館
- 13 附属病院
- 14 収入・支出予算額
- 15 職員数
- 16 キャンパス面積



1 組織・沿革

金沢大学は、歴史と伝統を引き継ぎ、
未来へ向けて改革する総合大学です。



3学域・16学類

人間社会学域

人文学類／法学類

経済学類／学校教育学類

地域創造学類／国際学類

理工学域

数物科学類／物質化学類

機械工学類／電子情報学類

環境デザイン学類

自然システム学類

医薬保健学域

医学類／薬学類

創薬科学類／保健学類

国際基幹教育院

附属病院

がん進展制御研究所

附属図書館

学内共同教育研究施設

総合メディア基盤／環日本海域環境研究／
学際科学実験／子どものこころの発達研究／
先進予防医学研究／地域連携推進／環境保全
の各センター

保健管理センター

グローバル人材育成推進機構

新学術創成研究機構

先端科学・イノベーション推進機構

国際機構

学内共同利用施設

極低温研究室／資料館／埋蔵文化財調査センター
技術支援センター

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

大学院6研究科

人間社会環境研究科

自然科学研究科

医薬保健学総合研究科

先進予防医学研究科

法務研究科(法科大学院)

教職実践研究科(教職大学院)

■金沢大学の起源は1862年の加賀藩彦三種痘所まで遡ることができ、150年以上の歴史があります。

■さまざまな学校の歴史と伝統を引き継ぎ、1949年5月に新制大学として発足しました。

■2004年4月、国立大学法人となり、新たな一歩を踏み出しました。

■2008年4月、社会の要請に応じた優れた人材の育成と、時代が求める新しい学問領域の開拓を図るため、これまでの教育組織である8学部・25学科・課程を3学域・16学類に再編・統合しました。

■2014年5月、グローバル社会をリードする人材の育成と、世界に通用する研究拠点の形成を進めるため、「YAMAZAKIプラン2014」を策定しました。2016年10月には、そのプランにおける目標、戦略、施策などを総合的に見直し、新たな改革の行動計画として「YAMAZAKIプラン2016」を策定しました。

2 入学状況

地元北陸3県を中心に
全国各地から入学者が集まります。

■入学者の地域別内訳は、北陸3県が51%、関東・甲信越地域が18%、東海地域が16%、近畿地域が8%の順となっています。

全体数

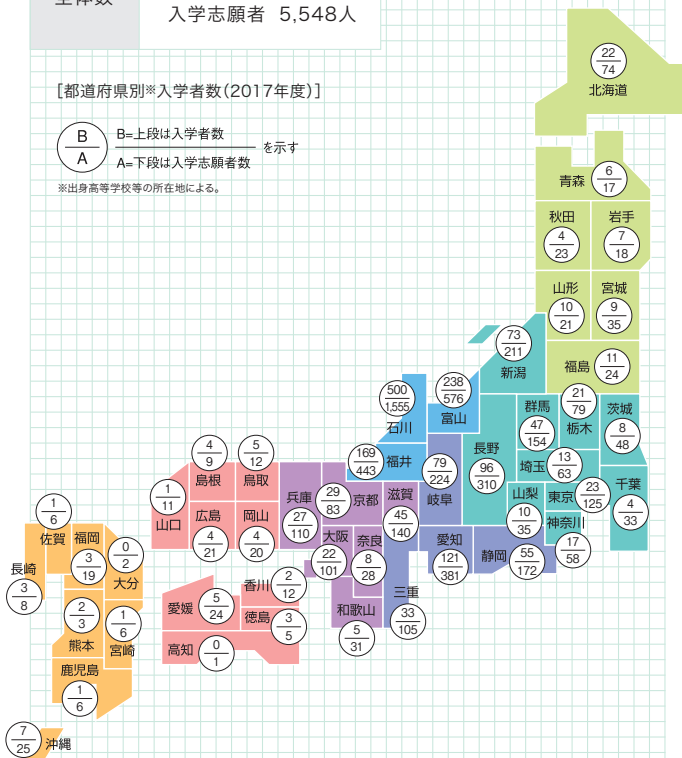
入学者 1,779人

入学志願者 5,548人

【都道府県別※入学者数(2017年度)】

$\frac{B}{A}$ B=上段は入学者数
 A=下段は入学志願者数

※出身高等学校等の所在地による。



高等学校卒業程度認定試験等合格者

$\frac{3}{19}$

外国の学校等

$\frac{18}{62}$

その他(専修学校の高等課程等)

$\frac{0}{0}$

3 学生数

および附属学校園幼児・児童・生徒数

附属学校園を含め

約12,000人の学生が在籍

うち女子学生は4,531人(約38%)

[学域等別学生数]

(単位:人)

学域・学部		学生数	研究科	学生数
人間社会学域	人文学類, 法学類, 経済学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 国際学類	3,247 (1,687:52%)	大学院修士(博士前期)課程	1,243 (277:22%)
理工学域	数物科学類, 物質化学類, 機械工学類, 電子情報学類, 環境デザイン学類, 自然システム学類	2,667 (397:15%)	大学院博士(博士後期)課程	1,035 (317:31%)
医薬保健学域	医学類, 薬学類, 創薬科学類, 保健学類	1,936 (978:51%)	専門職学位課程(法務研究科, 教職実践研究科)	63 (23:37%)
学部 [※]	医学部	1 (0:0%)	計	2,341 (617:26%)
計		7,851 (3,062:39%)	その他別科	30 (30:100%)

合 計 (収容定員 9,371) 10,222(3,709:36%)

※は従前の組織を示す。()内の数値は女子学生の人数および割合です。

■附属学校園幼児・児童・生徒数は, 幼稚園116人, 小学校660人, 中学校472人, 高等学校370人, 特別支援学校58人の計1,676人です。

[附属学校園在籍者数]

(単位:人)

学校名	在籍者数	学校名	在籍者数
幼稚園	116(54:47%)	高等学校	370(180:49%)
小学校	660(335:51%)	特別支援学校	58(19:33%)
中学校	472(234:50%)		

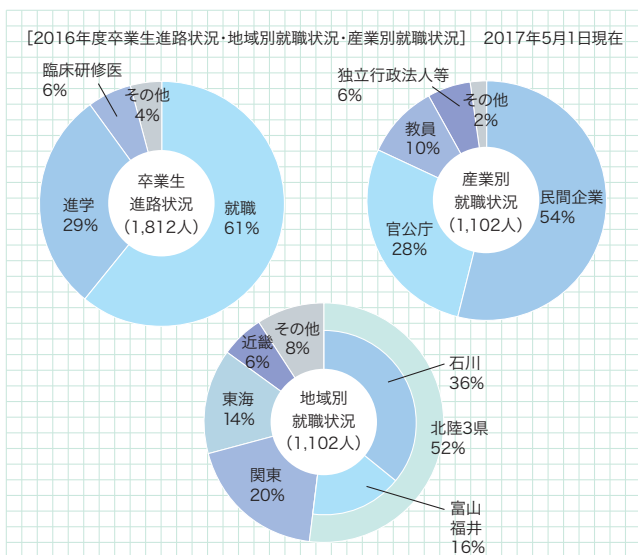
合 計 1,676(822:49%)

()内の数値は女子児童・生徒の人数および割合です。

4 卒業後の進路

学域・学部卒業者の**29%**が進学
理工学域においては**67%**が進学

- 学域・学部卒業生の累計は、89,488人に達し、社会の各方面で活躍。
- 2016年度学域・学部卒業生(1,812人)の29%が大学院などへ進学。
- 就職者の28%が官公庁に就職。
- 就職エリアは北陸3県が52%でトップ(石川県36%)。



官公庁へ多くの人材を輩出

- 金沢大学では、就職支援室が中心となって、就職指導・支援の充実を図るとともに、大学生協とタイアップして公務員試験対策講座を開講するなど、合格に向けた支援も行っています。
- 地方公務員試験合格者数は全国の大学の中で常に上位に位置しています。また、2016年度の国家公務員一般職試験では、行政129人、技術系18人の計147人が合格、国家公務員総合職試験では11人が合格しました。

5 教育

本当に学びたいものが学べる学士教育

- 「学類」という枠組みで入学した学生は、そこで学びの基礎を固めつつ、自分が本当にやりたいテーマを探することができます。
- 「経過選択制」により、基礎基本を学びながらじっくりと自分のテーマを選ぶことができます。
- それぞれの学域・学類における共通科目を「学域GS科目」として整備し、学びの核をつくります。また、「主専攻」に加え「副専攻」を用意し、これにより学際的、横断的な学びが可能です。

本学の特色ある取り組み

- 本学が育成する人材の具体的な姿を表した「金沢大学＜グローバル＞スタンダード(KUGS)」を制定。世界で活躍する「金沢大学ブランド」人材を育成します。
- KUGSを基軸とした学士教育の基盤となるGS(Global Standard)科目とGS言語科目を中心とする体系的なカリキュラムを実施。加えて、導入科目、基礎科目、初習言語科目などの授業を開講し、大学の教育全体の基盤となる知識・技能および教養、さらに幅広い専門外の知識や現代的な教養を備える人材を育成します。
- 国際基幹教育院を平成28年4月に設置。学士課程から大学院課程における教育の基盤をなす教養的教育(基幹教育)を強く推進することで、本学の教育全体の高度化と国際化を牽引します。

さまざまな学生支援を展開

- 学修・履修方法やコース選択などについて、一人一人に親身な指導を行うアドバイス教員を配置しています。
- 履修と大学生活に必要な情報が網羅されている「アカンサスポータル」、e-ラーニングと呼ばれる講義など、ICTを活用した自学自習を行う環境を整備しています。また、ラーニング・アドバイザー(LA)などによる学修支援も行っています。

学位授与数は全国19位

[2015年度大学別学位(課程博士)授与者ランキング]

順位	大学名	授与件数	順位	大学名	授与件数	順位	大学名	授与件数
1	東京大	1,243	8	早稲田大	431	15	岡山大	220
2	京都大	857	9	筑波大	425	16	東京医科歯科大	208
3	大阪大	704	10	東京工業大	343	17	慶應義塾大	199
4	九州大	571	11	広島大	330	18	日本大	170
5	東北大	569	12	千葉大	285	19	金沢大	166
6	北海道大	462	13	中央大	254	20	首都大学東京	151
7	名古屋大	459	14	神戸大	246			

朝日新聞社「大学ランキング2018年版」より

6 研究

学術論文被引用数, 国内**22**位
薬学・毒性学分野では国内**6**位
臨床医学分野では国内**11**位

■大学の研究面の成果や実績を示す指標の一つとして「学術論文」の被引用数があります。トムソン・ロイター社「Essential Science Indicators™」データベースによれば, 2007年1月～2017年2月の10年間の論文被引用数は, 金沢大学は国内で22位, 世界709位にランクされています。

■分野別では, 薬学・毒性学分野で国内6位など, 高度な研究力を有しています。

[日本の論文の引用動向 2007.1-2017.2 日本の研究機関ランキング]

【①全分野(ALL FIELDS) 5,352機関】(論文被引用数で上位1%に含まれる機関数)

国内順位	世界順位	機関名	論文数	被引用数	平均被引用数
1	47	東京大学	78,569	1,285,423	16.36
2	88	京都大学	57,537	857,258	14.90
3	139	(国研)科学技術振興機構	28,945	672,781	23.24
4	140	大阪大学	45,274	672,472	14.85
5	167	東北大学	44,790	578,143	12.91
6	194	(国研)理化学研究所	24,524	515,288	21.01
7	236	名古屋大学	30,828	433,348	14.06
8	286	九州大学	31,605	369,388	11.69
9	295	北海道大学	30,382	357,952	11.78
10	299	(国研)産業技術総合研究所	24,017	353,409	14.71
11	340	東京工業大学	24,303	316,102	13.01
12	416	筑波大学	19,794	254,915	12.88
13	466	慶應義塾大学	16,829	220,960	13.13
14	468	(国研)物質・材料研究機構	13,361	219,916	16.46
15	486	広島大学	16,649	206,721	12.42
16	535	岡山大学	14,253	183,895	12.90
17	561	神戸大学	14,302	171,864	12.02
18	624	東京医科歯科大学	9,191	155,238	16.89
19	627	千葉大学	13,051	154,910	11.87
20	653	首都大学東京	6,345	148,301	23.37
21	693	早稲田大学	11,151	134,698	12.08
22	709	金沢大学	10,085	131,949	13.08

○トムソン・ロイター社「Essential Science Indicators™」データベースを基に作成。
(世界順位等の情報は上記データベースから転記。それ以外は本学先端科学・イノベーション推進機構調べ)

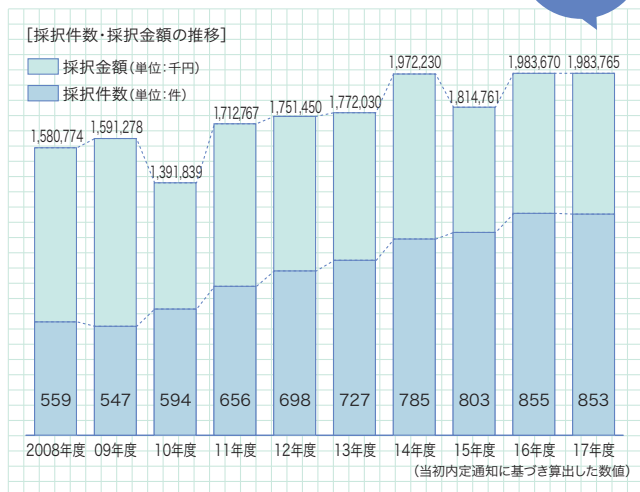
7 科研費

日本の学術振興のため優れた研究を支援する「科研費」の新規採択件数は全国で**13位**(2016年度)

■ 科研費の**2017年度**の国の予算額は**2,284億円**で、前年度に比べて**11億円**増加、10年前と比べて**18%増**となっています。

- ・採択件数**853件** ※2017年度当初 新規+継続合計
- ・採択金額**19億8,376万円**

採択金額
10年間で
25%増



■ 2016年度の新規採択件数は全国で13位です。

[2016年度科研費 採択件数ランキング(新規採択分)]

順位	大学・機関名	件数	新規採択率	順位	大学・機関名	件数	新規採択率	順位	大学・機関名	件数	新規採択率
1	東京大学	1,407	37.2%	8	筑波大学	494	32.5%	15	(国研)理化学研究所	300	27.4%
2	京都大学	1,133	37.4%	9	広島大学	407	31.3%	16	東京工業大学	299	29.7%
3	東北大学	961	33.0%	10	神戸大学	397	28.7%	17	新潟大学	291	30.2%
4	大阪大学	957	33.0%	11	慶應義塾大学	395	37.5%	18	岡山大学	281	27.2%
5	名古屋大学	696	34.9%	12	早稲田大学	344	31.6%	19	熊本大学	248	28.9%
6	九州大学	691	29.3%	13	金沢大学	307	29.7%	20	東京医科歯科大学	246	27.7%
7	北海道大学	637	32.4%	14	千葉大学	300	33.0%				

注)研究代表者の所属する大学等により整理している。

文部科学省「平成28年度科学研究費助成事業の配分について」(2016.10公表)より

■ 金沢大学では、申請書類作成のための説明会や、研究費支援など、さまざまな方策により科研費の一層の獲得増を目指しています。

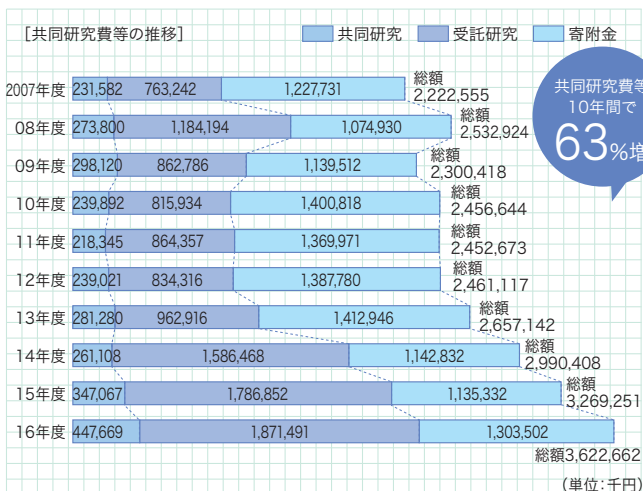
8 産学官連携

産業界との連携を図るため、金沢大学先端科学・イノベーション推進機構を窓口として、共同研究、受託研究を推進しています。

- 2016年度の共同研究・受託研究の合計件数は530件で、10年前に比べて82%増えています。
- 2015年度の民間企業との共同研究は、全国の国公立大学の中では、件数別で21位です。(文部科学省「2015年度大学等における産学連携等実施状況調査」より)

共同研究費等は10年間で63%増。

- 2016年度の共同研究、受託研究、寄附金を合わせた金額は、36億2,266万円となっており、産学官連携による資金の獲得を積極的に図っています。



2015年度における

特許権実施等件数は245件で 全国**14**位，
特許権実施等収入は2,296万円 で 全国**21**位

(文部科学省「2015年度大学等における産学連携等実施状況調査」に基づく順位)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
特許権実施等件数(件)	202	233	224	245	261
特許権実施等収入(千円)	32,822	27,225	35,987	22,957	21,841

9 社会貢献

地域・社会と共にある大学を目指し
積極的な社会貢献活動を展開

■ **11** の自治体と連携協定を締結。
大学の人材や知的財産を地域の活性化や
課題解決に生かします。

地域との連携協定状況

- | | | | |
|-------|-------|---------|------|
| ①石川県 | ②金沢市 | ③七尾市 | ④小松市 |
| ⑤輪島市※ | ⑥珠洲市※ | ⑦白山市 | ⑧能美市 |
| ⑨穴水町※ | ⑩能登町※ | ⑪富山県南砺市 | |

※⑤⑥⑨⑩については石川県立大学、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町の1大学4自治体との地域づくり連携協定を締結しています。

■ これまでに **144** 人の里山里海マイスターを輩出。
地域人材の養成に取り組んでいます。

「能登里山里海マイスター」育成プログラム

石川県、奥能登2市2町および地元企業と連携して、能登の明日を担う若い世代を対象に「能登里山里海マイスター」を育成・輩出。里山里海の自然資源を生かした能登半島の活性化を目指しています。2016年度から、講義と体験実習(スクーリング)を組み合わせた遠隔教育科を開講。能登学舎での講義をインターネット上で聴講できます。第1期は、日本語コースを17名が、英語コースを9名が受講しました。



プロジェクトの拠点「能登学舎」
(珠洲市・旧小泊小学校)

能登里山里海研究部門(珠洲市)

珠洲市からの寄附により、里山里海研究を基盤として地域の人材養成など地域活性化につながる事業を実施します。

■ 約 **74** haの広大な里山ゾーンを地域に公開。
築**300**年の古民家を移築した「角間の里」は
大学と地域の人々との交流拠点です。



角間の里山



金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」

角間キャンパスの「里山ゾーン」は、全国の大学の中でも有数の環境資源に恵まれています。この里山ゾーンを地域の住民や学生と共に保全しながら21世紀型の里山活用を検討する組織として「角間里山本部」が設置されています。また、ゾーン内には白山麓旧白峰村にあった築300年の豪農民家を移築した金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」があり、金沢大学の社会貢献の基地として、また、地域住民の多様な生涯学習の場として活用されています。

10 生涯学習

開かれた大学づくりにより
1,996人の生涯学習をお手伝い

1,070人の社会人学生を受け入れています。

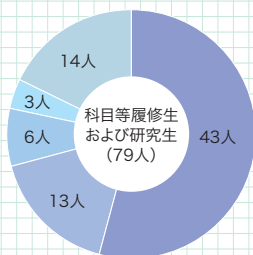
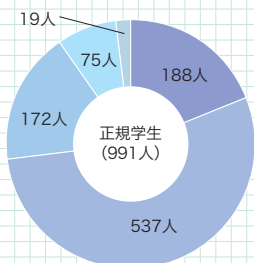
■社会人学生が学びやすい環境を整えるため、土日・夜間に講義・研究指導を受けられる特例措置や、入学から卒業・修了までの履修期間をあらかじめ長く設定できる制度を設けています。

公開講座・ミニ講演には、幅広い年齢の926人が参加。

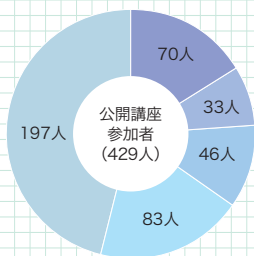
■金沢大学では、開かれた大学づくりを推進し、行政・関係団体・グループなどと協力し合いながら、地域の人たちの生涯にわたる学習活動のお手伝いをしています。

■大学が持つ専門知識を生かした取り組みとして、1976年から公開講座を毎年開講。幅広い分野の講座を企画し、一人一人の自発的な学習活動を支援しています。また、地域との交流を深めるために大学の最先端研究を分かりやすく解説するミニ講演の実施など、生涯学習しやすい社会づくりに貢献しています。

[社会人学生の年代別内訳(2017年5月現在)]



[公開講座参加者の年代別内訳(2016年度)]



30代未満
30代
40代
50代
60代以上

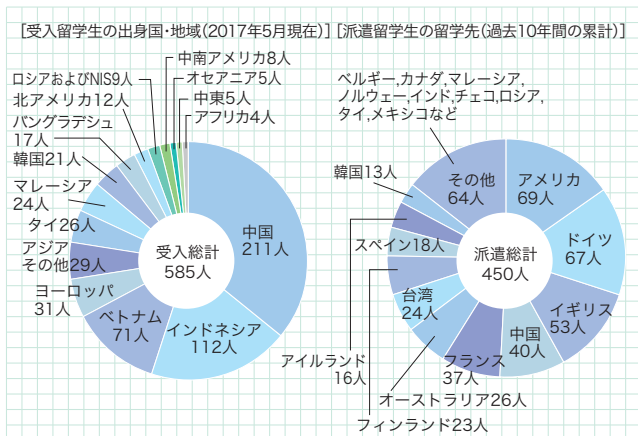
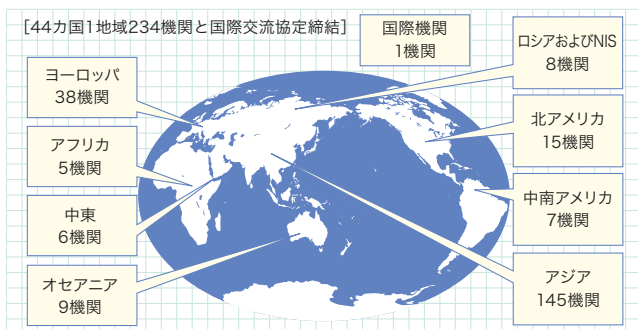
(2016年度)

	実施数	参加者数
公開講座	29講座	429人
ミニ講演	13回	497人

11 国際交流・外国人留学生

環日本海の基幹大学,
東アジアの**アカデミア**の拠点として,
世界のトップ大学との交流を積極的に推進

- 金沢大学は、環日本海域の基幹大学、東アジアのアカデミアの拠点として、アメリカ、ヨーロッパ、アジア地域のトップ大学との交流を積極的に推進しており、世界の44カ国、230を超える機関と協定を締結しています。
- 金沢大学で学ぶ外国人留学生は、世界43カ国・地域からの計585人です。うち87%にあたる511人がアジア地域からの留学生です。中でも、中国からの留学生が一番多く、211人を数えます。
- 近年では、毎年約50人の学生が協定校に留学(期間3カ月～1年)しています。留学先で多い国は、アメリカ、ドイツ、イギリス、中国です。このほか、海外異文化体験・語学研修、インターンシップなどの短期研修プログラムに派遣するなど海外留学を促進しています。

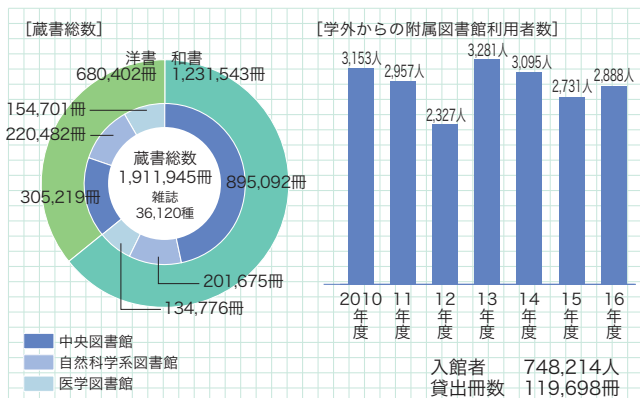


12 附属図書館・資料館

附属図書館の蔵書数は約**191万冊**

電子ジャーナルは約**7,800**タイトルと充実

<図書館Webサイト> <http://library.kanazawa-u.ac.jp/>



■附属図書館は、中央図書館(角間キャンパス北地区)、自然科学系図書館(角間キャンパス南地区)および医学図書館(宝町・鶴間キャンパス)の3館で構成されています。

■学生が能動的に学び合う空間「ラーニング・コモンズ」と、日本人学生と留学生が日常的に交流できる「国際交流スタジオ/コーナー」を全館に配置しています。

■県内公共図書館と協力したネットワークを形成し、来館者(北陸3県在住者)に貸出をするほか、公共図書館を窓口とした貸出も行っています。

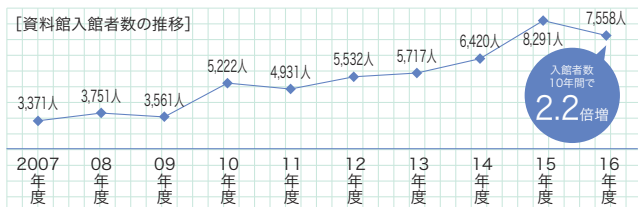
■金沢大学学術情報リポジトリKURAにより、本学教職員の教育・研究活動の結果として生み出された学術成果(論文や研究データなどのコンテンツ)を電子的な形態で保存し、インターネット上で公開しています。

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/>

資料館では、約**86,700**点の資料を収蔵

■資料館は、1989年に金沢大学の角間移転を機に設置され、2016年に文部科学大臣から「博物館相当施設」に指定されました。

■収蔵資料数は、モノ資料約75,700点、文書資料約11,000点の計約86,700点です。金沢市指定文化財である加賀藩藩校の「明倫堂」および「経武館」の扁額のほか、前身校を含む金沢大学に関する資料を所蔵・展示しています。



13 附属病院

36の専門診療科, ベッド数838床,
1,800人を超えるスタッフ

診療科数 36科		ベッド数 838床	
診療 状況	外来	延べ患者数	381,224人
		1日平均患者数	1575.3人
		平均通院日数	22.5日
	入院	延べ患者数	259,782人
		1日平均患者数	711.7人
		平均在院日数	17.6日

※外来診療日数242日 ※診療状況は2016年度

地域の医療拠点として質の高い医療を提供

■近年, 病院の機能や役割は細分化され, 大学病院, 地域の病院・診療所が役割を分担し, それぞれの役割を果たすことが重要になっています。附属病院は, 高度で良質な医療を提供する特定機能病院として厚生労働省から承認を受けており, その役割を果たすため, 患者のかかりつけ医である地域の病院・診療所, そして保健行政機関, 医師会等との地域医療支援ネットワークづくりを進めています。

[2016年度患者紹介率]

紹介率	逆紹介率
83.79%	72.23%

※紹介率は, 附属病院を受診した患者さんのうち, 他の医療機関から紹介されて来院した患者さんの割合。逆紹介率は, 附属病院から他の医療機関に紹介した患者さんの割合を示す数字。

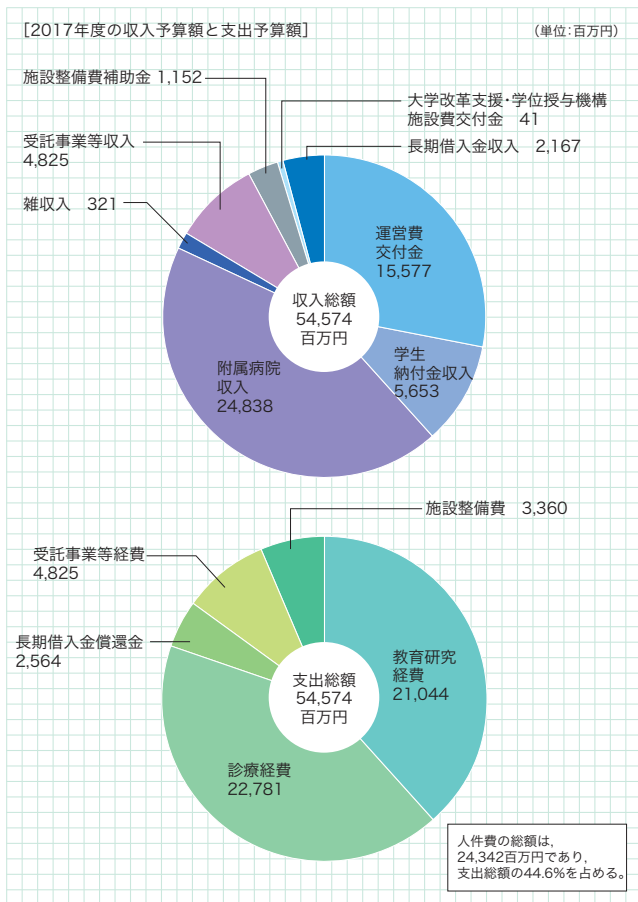
臨床研究の推進と医療人材の育成

■北陸の6大学が, 医師主導治験を多施設共同で行うことにより国際水準の質の高い臨床研究体制を構築するという目的で設立した「北陸臨床研究機構」において, 附属病院は6大学と連携病院で形成した治験・臨床研究ネットワークの中心としての機能を果たしています。

■石川県と連携して設置した「金大病院CPDセンター」には, TV会議システムやトレーニングシミュレーターを備えています。県内における医療人の育成, 専門職能力開発, 生涯学習の充実および医療レベルの向上を目的としており, 医療関係者同士の知的交流の場となることが期待されています。

14 収入・支出予算額

2017年度予算額は約546億円



- 国からの運営費交付金約156億円は、収入予算額の約29%を占めています。
- 金沢大学の予算額を地方自治体の2017年度一般会計予算額と比較してみると、石川県の約1/10、金沢市の約1/3の金額となっています。

[2017年度一般会計当初予算額]

(単位:百万円)

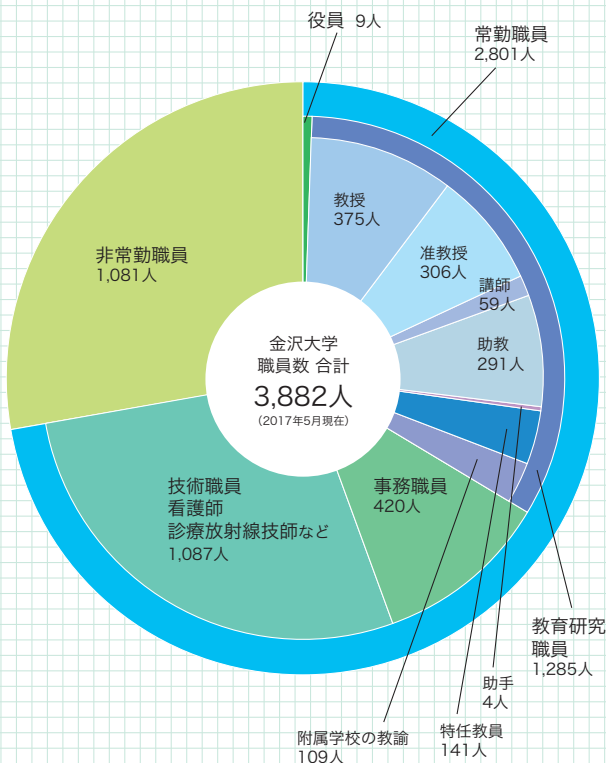
石川県	金沢市
532,124	169,730

自治体のWebサイト公表データより

15 職員数

2017年5月現在,
金沢大学で働くスタッフ数は**3,882人**

[金沢大学で働く職員数とその内訳]

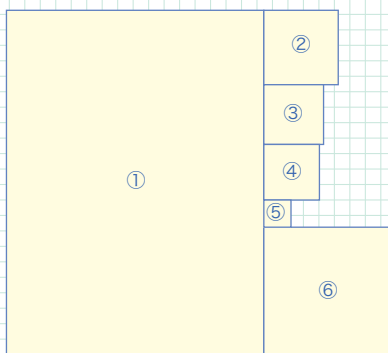


■金沢大学で働くスタッフ数は常勤2,801人, 非常勤1,081人, 合計3,882人。うち教育研究職員が1,285人で, 学生9人につき, 教育研究職員が1人つく割合です。

16 キャンパス面積

豊かな緑に囲まれた
ロケーションにある角間キャンパス
このメインキャンパスをはじめとする
金沢大学の総面積は、約**267万**m²
東京ドームの約**57**個分

[各キャンパスの面積対比]



① 角間キャンパス 2,008,565m²
本部・人間社会学域・理工学域・
医薬保健学域（薬・創薬）・がん研 ほか

⑤ 東兼六地区 10,517m²
附属特別支援

② 宝町・鶴間キャンパス 151,053m²
附属病院・医薬保健学域（医・保） ほか

⑥ その他 333,637m²
臨海実験施設
辰口共同研修センター
学生寮・職員宿舎 ほか

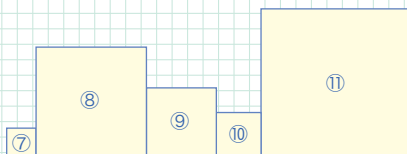
③ 小立野地区 83,342m²

④ 平和町地区 79,876m²
附属幼・小・中・高

①+②+③+④+⑤+⑥

金沢大学 総面積 2,666,990m²

[比較例]



⑦ 石川県立野球場 20,179m²

⑧ 金沢城公園（外堀等含む）
約285,000m²

⑨ 兼六園 114,429m²

⑩ 東京ドーム 46,755m²

⑪ 東京ディズニーランド 510,000m²



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

編集／金沢大学総務部広報室

所在地／〒920-1192 石川県金沢市角間町

tel.076-264-5024 fax.076-234-4015

URL／www.kanazawa-u.ac.jp/

E-mail／koho@adm.kanazawa-u.ac.jp

※このリーフレットの掲載内容および最新ニュースなどについては、「金沢大学 Webサイト」でもご覧いただけます。

※データは特別な記載がある場合を除き、2017年5月1日現在のものです。

